

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月14日

【四半期会計期間】 第198期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）

【会社名】 ニチアス株式会社

【英訳名】 NICHIAS CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 矢野邦彦

【本店の所在の場所】 東京都中央区八丁堀一丁目6番1号  
（平成25年7月16日から本店所在地 東京都港区芝大門一丁目1番26号が上記のよ  
うに移転しております。）

【電話番号】 03-4413-1111

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員管理本部長 富田雅行

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区八丁堀一丁目6番1号

【電話番号】 03-4413-1111

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員管理本部長 富田雅行

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）  
ニチアス株式会社大阪支社  
（大阪市中央区南船場四丁目11番10号）  
ニチアス株式会社名古屋支社  
（名古屋市南区東又兵衛町二丁目30番地）

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第197期 第2四半期 連結累計期間	第198期 第2四半期 連結累計期間	第197期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (百万円)	68,523	69,529	137,008
経常利益 (百万円)	5,269	5,372	9,752
四半期(当期)純利益 (百万円)	2,982	3,215	5,936
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	3,039	5,247	8,305
純資産額 (百万円)	57,724	66,819	62,299
総資産額 (百万円)	133,035	137,755	135,401
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	25.03	26.93	49.81
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	23.83	23.39	45.23
自己資本比率 (%)	42.7	48.0	45.3
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	6,571	2,300	11,076
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	2,809	5,074	7,240
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	4,843	2,116	3,185
現金及び現金同等物の四半期末残高又は期末残高 (百万円)	20,861	14,751	19,344

回次	第197期 第2四半期 連結会計期間	第198期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	9.23	12.12

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第197期第1四半期連結会計期間より、Nichias Czech s.r.o.を連結の範囲に含めております。
4. 第198期第2四半期連結会計期間より、NICHIAS AUTOPARTS MALAYSIA SDN.BHD.を連結の範囲に含めておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、第1四半期連結会計期間において、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等) セグメント情報」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資の動きが依然低調な水準となっておりますが、政府主導の経済対策や金融政策への期待感から円安、株高が進むとともに、輸出関連企業を中心に収益が改善するなど明るい兆しが見えてきました。

このような状況の中、電力関連工事の減少によりプラント向け販売・工事部門の売上高が減少しましたが、半導体需要の回復により増産した高機能製品部門、自動車メーカーの増産に伴い需要の増加した自動車部品部門の売上高が増加したため、当社グループの売上高は、前年同四半期に対し1.5%増の695億29百万円となりました。

一方利益面では、営業利益が49億28百万円、経常利益が53億72百万円、四半期純利益が32億15百万円と前年同四半期と比較し、それぞれ7.9%の減少、2.0%の増加、7.8%の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別売上高の状況は以下のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

**プラント向け販売・工事**については、メンテナンス需要を取り込んだ製品販売は堅調に推移したものの、電力関連工事の完成が減少したため、売上高は前年同四半期に対し5.5%減の183億61百万円となりました。

**工業製品**については、足もとの景気が緩やかに回復する中、シール材製品、無機断熱材製品、ふっ素樹脂製品の受注が増加基調にあるものの、前年同期の水準には戻っていないため、売上高は前年同四半期に対し0.2%減の187億24百万円となりました。

**高機能製品**については、半導体製造装置メーカー向けのふっ素樹脂製品、断熱製品の需要が回復したため、売上高は前年同四半期に対し13.2%増の68億91百万円となりました。

**自動車部品**については、自動車メーカー各社の増産に伴い自動車メーカーおよび部品メーカー向け製品の需要が堅調に推移したため、売上高は前年同四半期に対し8.4%増の144億30百万円となりました。

建材については、新設住宅着工戸数が堅調に推移する中、住宅用断熱材、住宅用耐火被覆材を中心に建材製品全般の需要が引き続き高い水準で推移したため、売上高は前年同四半期に対し1.7%増の111億21百万円となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が44億98百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が26億1百万円、建物及び構築物が16億24百万円、投資有価証券が10億円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して23億54百万円増加の1,377億55百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、長期借入金が8億50百万円増加しましたが、短期借入金16億71百万円、未払法人税等が11億88百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して21億65百万円減少の709億36百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金が28億42百万円、為替換算調整勘定が12億10百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して45億19百万円増加の668億19百万円となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して45億93百万円減少し147億51百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は23億円（前年同四半期は65億71百万円の獲得）となりました。

これは、仕入債務の減少8億22百万円、たな卸資産の増加7億21百万円、法人税等の支払額26億30百万円等により資金が減少しましたが、税金等調整前四半期純利益51億13百万円、減価償却費16億85百万円等により資金が増加したことによります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は50億74百万円（前年同四半期は28億9百万円の支出）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出33億15百万円、無形固定資産の取得による支出9億62百万円等により資金が減少したことによります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は21億16百万円（前年同四半期は48億43百万円の獲得）となりました。

これは、主に長期借入による収入11億円により資金が増加しましたが、長期借入金の返済による支出20億円、配当金の支払額8億37百万円等により資金が減少したことによります。

## (4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、27億2百万円でありませ

ず。  
なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、高機能製品の受注高が77億90百万円、受注残高が18億7百万円、自動車部品の受注残高が12億39百万円と前年同四半期と比較し、それぞれ40.5%、173.4%、51.6%の増加となりました。

これは、半導体製造装置メーカー向けのふっ素樹脂製品、断熱製品の需要が回復基調にあることおよび、自動車メーカー各社の増産に伴い自動車メーカーおよび部品メーカー向け製品の需要が堅調であるためであります。

(6) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった主要な設備の新設、休止、大規模改修、除却、売却等について、当第2四半期連結累計期間に著しい変更があったものは、次のとおりであります。

実施を延期した案件

会社名 事業所名	設備の 所在地	セグメント の名称	設備の 内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定		投資目的
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手	完了	
ニチアス(株) 本社	浜松研究所 (浜松市 北区)	高機能製品	研究設備	100		自己資 金及 び 借入金	当初予定より延期		新規案件 対応

投資予定金額ならびに完了予定が変更（下線部分）となった案件

変更前

会社名 事業所名	設備の 所在地	セグメント の名称	設備の 内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定		投資目的
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手	完了	
ニチアス(株) 本社	本社 (東京都 港区)	全社資産	ソフト ウェア	<u>2,120</u>	1,043	自己資 金及 び 借入金	平成23年6月	<u>平成25年12月</u>	業務効率 の向上

変更後

会社名 事業所名	設備の 所在地	セグメント の名称	設備の 内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定		投資目的
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手	完了	
ニチアス(株) 本社	本社 (東京都 中央区)	全社資産	ソフト ウェア	<u>2,241</u>	1,877	自己資 金及 び 借入金	平成23年6月	<u>平成26年4月</u>	業務効率 の向上

(7) 経営成績に重要な影響を与える要因について

当社グループの経営成績に重要な影響を与える可能性のある事象（リスク要因）につきましては以下のとおりです。

当社グループではこれらの事象に対して、経営成績に重要な影響を及ぼす可能性がある要因の除去に努めており、万一影響が生じる場合でも最小限で止まるようあらゆる対応を行っております。

### 景気変動、経済情勢のリスク

当社グループは、ガasket、パッキンなどのシール材の製造販売、ロックウール、セラミックファイバーなどを基材とする各種の無機断熱材の製造販売、ふっ素樹脂など高機能樹脂を使用した耐食材や耐食機器部品の製造販売、エンジンおよび周辺機器用のシール材や防音・防熱用機能材などの自動車部品の製造販売、けい酸カルシウム板や断熱材を中心とした各種不燃建材の製造販売、また、電力・ガス、石油・石化プラントの保温保冷工事、フリーアクセスフロア工事などを事業として行っており、需要先は石油・石化、化学、鉄鋼、電力・ガス、自動車、半導体、建設など幅広い産業分野にわたっています。このため、全産業の設備投資動向、また耐食材については半導体の需要動向、自動車部品については自動車の生産、販売台数の動向、建材については住宅およびビル建設需要の動向に依存し、最終的には内外の景気動向や経済情勢の影響を受けます。

### 海外事業活動のリスク

当社グループはアジアをはじめとして海外で事業を展開しております。海外での事業においては、通常予期しえない法律や規制の変更あるいは急激な金融情勢の変化など、経済的に不利な要因の発生や政治的混乱などのリスクが存在します。こうしたリスクが顕在化した場合、当社グループの海外での活動に支障が生じ、当社グループの業績や財務状況に影響を与える可能性があります。

### 債権管理のリスク

当社グループは取引先に対して、売掛金や受取手形などの債権を有しております。与信管理については常に充分注意しておりますが、場合によっては回収リスクが顕在化する可能性があります。

### 退職給付債務のリスク

当社グループの年金資産の時価が下落した場合や年金資産の運用利回りが低下した場合、または、予定給付債務を計算する前提となる基礎率などに変更があった場合、損失が発生する可能性があります。

### 製品の品質維持のリスク

当社グループは、各生産拠点において品質保証の国際規格ISO9001のもとで各製品を製造しておりますが、全ての製品について欠陥が無く、将来クレームが発生する可能性が全くないという保証はありません。製品の欠陥は当社グループの評価に影響を与え、業績や財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

### 災害に係わるリスク

当社グループは国内外に複数の生産拠点などを有しており、当該拠点のいずれかが地震などの災害に被災し稼働困難となった場合には、当社グループの業績や財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

### アスベスト（石綿）による健康障害者への補償のリスク

当社および一部の国内子会社は、当社起因のアスベスト疾病により死亡または療養されている従業員および元従業員に対して、社内規程に基づき補償金を支払っております。また、一定の基準を満たされた当社および一部の国内子会社の工場周辺住民の方に救済金を支払っております。今後もアスベストによる健康障害者への補償費用等の負担が継続する可能性があります。

## (8) 経営戦略の現状の見通し及び対処すべき課題

当社グループは、ステークホルダーのみなさまからの信頼を支えにし、「断つ・保つ」をコアにした「多岐にわたる技術群」「ニチアス・トンボというブランド」「客先・仕入先・営業拠点の幅広いネットワーク」という財産を保持しております。引き続き、それらを強化し、市場に無くてはならない製品・事業を提供し続けることで「長期にわたる会社の安定的成長と収益の確保」を図ってまいります。

また、当社グループ従業員が誇りを持って働ける会社にすることも重要課題と認識しております。以下の重要課題を進めることにより経営ビジョンとして掲げている「お客様から信頼され、誇りを持って働ける会社」の実現に向け、邁進いたします。

### コンプライアンスの厳守

当社グループが安定して成長していくためにコンプライアンスの徹底を図っております。具体的にはコンプライアンス綱領に基づき、コンプライアンス委員会を中心に当社グループ各所の支部委員会および労働組合と連携しながら、法令順守状況の把握や、従業員への啓発活動を中心に推進しております。

### 企業価値の向上とステークホルダーのみなさまとの価値の共有

当社グループはこれまで、安心して使っていただける製品・サービスを提供していくため、ものづくりにおける安全、環境に配慮し、研究開発、生産技術、設備技術、技術サービスの強化を図ってまいりました。これらの活動を継続し、発展させることで企業価値の向上を図り、ステークホルダーのみなさまとその価値を共有してまいります。

### グローバルな事業運営の推進

当社グループはこれまで生産、販売拠点としての海外展開を行い、日本および現地日系企業への製品供給を行ってまいりました。今後はより広い市場での顧客対応を行うべく、グローバルな事業運営を進めてまいります。

### 明日を担う人材の育成と登用

当社グループが、今後成長発展していくために、次代の経営層を含めた人材の育成を行うとともに、中堅社員の積極的な登用も推し進めてまいります。また、グループ従業員の成長を会社として支援する制度をさらに充実させてまいります。

### リスクマネジメントの強化

東日本大震災後、当社グループにおきましては一部工場の停止、営業拠点の休止という事態に陥りました。この教訓をもとに大地震などの自然災害発生時でも事業継続すべく、リスクマネジメントを強化し、組織横断的対応を推進しております。

## (9) 財務政策

運転資金および設備投資資金については、営業活動によるキャッシュ・フローから得られる資金、社債の発行および金融機関からの借入れにより資金を調達しております。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	240,000,000
計	240,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	125,057,344	125,057,344	(株)東京証券取引所 市場第一部	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は1,000株であります。
計	125,057,344	125,057,344		

(注) 「提出日現在発行数」欄には、平成25年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年7月1日 ~ 平成25年9月30日		125,057,344		9,283		9,724



(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
ニチアス持株会	東京都中央区八丁堀一丁目6番1号	10,247	8.19
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	5,441	4.35
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	5,068	4.05
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内一丁目1番2号	5,033	4.02
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サー ビス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海一丁目8番12号 晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーZ棟	5,018	4.01
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C BRITISH CLIENTS (常任代理人 香港上海銀行東 京支店 カストディ業務部)	50 BANK STREET CANARY WHARF LONDON E14 5NT, UK (東京都中央区日本橋三丁目11番1号)	3,874	3.10
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号	3,738	2.99
住友生命保険相互会社	東京都中央区築地七丁目18番24号	2,874	2.30
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT (常任代理人 株式会社みずほ 銀行決済営業部)	WOOLGATE HOUSE, COLEMAN STREET LONDON EC2P 2HD, ENGLAND (東京都中央区月島四丁目16番13号)	2,834	2.27
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内一丁目6番6号	2,518	2.01
計		46,645	37.30

- (注) 1. 当社は自己名義株式5,534千株(4.43%)を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。  
2. 三井住友信託銀行株式会社から、平成25年4月19日付の大量保有報告書の変更報告書の送付をもって、同年4月15日現在で三井住友信託銀行株式会社ほか共同保有者が、それぞれ以下のとおり株式を所有している旨の報告を受けておりますが、当社としては、各社の平成25年9月30日現在の実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には、三井住友信託銀行株式会社については株主名簿上の株式数を記載し、ほかの2社は含めておりません。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号	8,915	7.13
三井住友トラスト・アセットマ ネジメント株式会社	東京都港区芝三丁目33番1号	179	0.14
日興アセットマネジメント 株式会社	東京都港区赤坂九丁目7番1号	224	0.18

3. 株式会社みずほ銀行から、平成25年7月22日付の大量保有報告書の変更報告書の送付をもって、同年7月15日現在で株式会社みずほ銀行ほか共同保有者が、それぞれ以下のとおり株式を所有している旨の報告を受けておりますが、当社としては、各社の平成25年9月30日現在の実質所有株式数の確認ができませんので、上記の大株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号	5,018	4.01
みずほ信託銀行株式会社	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	1,468	1.17

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 5,534,000		単元株式数 1,000株
	(相互保有株式) 普通株式 67,000		同上
完全議決権株式(その他)	普通株式 118,381,000	118,381	同上
単元未満株式	普通株式 1,075,344		
発行済株式総数	125,057,344		
総株主の議決権		118,381	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が2,000株(議決権の数2個)含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合 (%)
ニチアス株式会社	東京都中央区八丁堀一丁目6番1号	5,534,000		5,534,000	4.43
東絶工業株式会社	大阪府大阪市淀川区三国本町二丁目13番26号	60,000		60,000	0.05
ハマアス株式会社	静岡県浜松市南区卸本町29番地	7,000		7,000	0.00
計		5,601,000		5,601,000	4.48

(注) 株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が1,000株(議決権の数1個)あります。なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄に含まれております。

2 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,383	14,884
受取手形及び売掛金	<sup>2</sup> 30,105	32,706
完成工事未収入金	12,387	9,828
有価証券	-	100
商品及び製品	7,194	7,986
仕掛品	1,192	1,223
原材料及び貯蔵品	4,605	4,639
未成工事支出金	3,642	3,895
繰延税金資産	1,587	1,635
その他	1,746	2,546
貸倒引当金	38	21
流動資産合計	81,805	79,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,326	40,299
減価償却累計額及び減損損失累計額	25,770	26,119
建物及び構築物(純額)	12,555	14,180
機械装置及び運搬具	58,404	59,950
減価償却累計額及び減損損失累計額	51,445	52,242
機械装置及び運搬具(純額)	6,959	7,708
土地	13,508	13,534
リース資産	295	349
減価償却累計額	135	145
リース資産(純額)	160	203
建設仮勘定	3,009	3,451
その他	6,856	7,138
減価償却累計額及び減損損失累計額	6,488	6,597
その他(純額)	367	540
有形固定資産合計	36,561	39,619
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	721	1,544
その他	1,073	1,050
無形固定資産合計	1,795	2,594
投資その他の資産		
投資有価証券	8,895	9,896
繰延税金資産	1,046	675
その他	5,455	5,696
貸倒引当金	157	151
投資その他の資産合計	15,239	16,116
固定資産合計	53,596	58,330
資産合計	135,401	137,755

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	<sup>2</sup> 22,182	21,816
1年内償還予定の社債	900	8,900
短期借入金	14,400	12,729
未払金	4,610	4,493
未払法人税等	2,662	1,473
未成工事受入金	275	501
賞与引当金	1,925	2,214
完成工事補償引当金	12	12
資産除去債務	144	263
その他	1,873	1,797
流動負債合計	48,988	54,202
固定負債		
社債	9,350	900
新株予約権付社債	10,000	10,000
長期借入金	1,175	2,025
繰延税金負債	126	492
退職給付引当金	2,274	2,290
役員退職慰労引当金	64	35
資産除去債務	441	296
その他	681	694
固定負債合計	24,113	16,734
負債合計	73,101	70,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,283	9,283
資本剰余金	9,904	9,932
利益剰余金	42,718	45,560
自己株式	1,834	1,777
株主資本合計	60,072	62,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,340	3,049
為替換算調整勘定	1,120	90
その他の包括利益累計額合計	1,219	3,139
新株予約権	31	-
少数株主持分	976	680
純資産合計	62,299	66,819
負債純資産合計	135,401	137,755

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>売上高</b>		
商品及び製品売上高	48,972	50,806
完成工事高	19,550	18,723
売上高合計	68,523	69,529
<b>売上原価</b>		
商品及び製品売上原価	36,186	37,566
完成工事原価	17,034	16,624
売上原価合計	53,220	54,191
<b>売上総利益</b>	15,302	15,338
<b>販売費及び一般管理費</b>		
販売費	<sup>1</sup> 3,022	<sup>1</sup> 3,415
一般管理費	<sup>2</sup> 6,928	<sup>2</sup> 6,994
販売費及び一般管理費合計	9,951	10,410
<b>営業利益</b>	5,351	4,928
<b>営業外収益</b>		
受取利息	16	11
受取配当金	103	166
為替差益	-	276
受取賃貸料	119	133
持分法による投資利益	-	17
その他	175	139
営業外収益合計	414	744
<b>営業外費用</b>		
支払利息	219	151
為替差損	80	-
持分法による投資損失	18	-
その他	177	148
営業外費用合計	496	300
<b>経常利益</b>	5,269	5,372
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	5	6
新株予約権戻入益	37	7
特別利益合計	43	13
<b>特別損失</b>		
固定資産除売却損	39	67
投資有価証券評価損	433	-
ゴルフ会員権評価損	12	-
本社移転費用	-	204
特別損失合計	485	272
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	4,827	5,113
法人税、住民税及び事業税	2,007	1,494
法人税等調整額	218	348
法人税等合計	1,788	1,843
<b>少数株主損益調整前四半期純利益</b>	3,038	3,269

少数株主利益	56	54
四半期純利益	2,982	3,215

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,038	3,269
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	709
為替換算調整勘定	76	1,268
その他の包括利益合計	0	1,977
四半期包括利益	3,039	5,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,982	5,135
少数株主に係る四半期包括利益	57	111



## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,827	5,113
減価償却費	1,538	1,685
投資有価証券評価損益(は益)	433	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	97	29
退職給付引当金の増減額(は減少)	88	1
賞与引当金の増減額(は減少)	343	287
受取利息及び受取配当金	120	177
支払利息	219	151
為替差損益(は益)	1	49
売上債権の増減額(は増加)	4,500	279
たな卸資産の増減額(は増加)	1,392	721
仕入債務の増減額(は減少)	2,409	822
未払金の増減額(は減少)	497	615
未払費用の増減額(は減少)	108	95
未成工事受入金の増減額(は減少)	175	225
その他	193	558
小計	7,526	4,862
利息及び配当金の受取額	120	177
利息の支払額	222	154
法人税等の支払額	878	2,630
法人税等の還付額	25	44
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,571	2,300
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
子会社株式の取得による支出	236	86
有形固定資産の取得による支出	1,987	3,315
有形固定資産の売却による収入	35	24
無形固定資産の取得による支出	664	962
貸付けによる支出	173	671
貸付金の回収による収入	128	28
その他	86	91
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,809	5,074
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	2,398	57
長期借入れによる収入	300	1,100
長期借入金の返済による支出	6,638	2,000
社債の償還による支出	450	450
新株予約権付社債の発行による収入	10,000	-
配当金の支払額	710	837
少数株主への配当金の支払額	17	7
その他	38	20
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,843	2,116

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	163
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	8,646	4,727
現金及び現金同等物の期首残高	12,156	19,344
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	58	134
現金及び現金同等物の四半期末残高	<sup>1</sup> 20,861	<sup>1</sup> 14,751

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
(1) 連結の範囲の重要な変更	当第2四半期連結会計期間より、重要性が増したNICHIAS AUTOPARTS MALAYSIA SDN.BHD.を連結の範囲に含めております。
(2) 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更	従来、連結子会社のうちニチアス協信(株)の決算日は12月31日、大田化成(株)の決算日は1月31日、(株)西日本ニチアス(旧社名:あきつ産業(株))の決算日は2月末日であり、同日現在の財務諸表を使用し連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っていましたが、各社決算日を3月31日に変更したことに伴い、当第2四半期連結累計期間はそれぞれ、平成25年1月1日から平成25年9月30日までの9か月間、平成25年2月1日から平成25年9月30日までの8か月間、平成25年3月1日から平成25年9月30日までの7か月間を連結しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 保証債務等

(1) 連結会社以外の会社等の金融機関からの借入金等に対し次のとおり保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
上海五友汽車零部件有限公司	464百万円	479百万円
NICHIAS INDUSTRIAL PRODUCTS PVT.LTD.	213	179
その他	2社 147	2社 132
従業員	20	18
計	846	810

(2) 手形流動化に伴う買戻し義務限度額

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
	731百万円	602百万円

2. 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	313百万円	- 百万円
支払手形	2,018	-

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費の主な内訳は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
従業員給料	880百万円	961百万円
賞与引当金繰入額	277	283
退職給付費用	83	84
荷造保管運送費	600	702
貸倒引当金繰入額	95	13

2. 一般管理費の主な内訳は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
従業員給料	1,788百万円	1,714百万円
賞与引当金繰入額	801	807
退職給付費用	562	464
調査研究費	367	277
減価償却費	273	309

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金	20,892百万円	14,884百万円
預入期間が3か月を超える 定期預金	31	132
現金及び現金同等物	20,861	14,751

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	715	6.0	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月12日 取締役会	普通株式	715	6.0	平成24年9月30日	平成24年12月5日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	835	7.0	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月11日 取締役会	普通株式	836	7.0	平成25年9月30日	平成25年12月5日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	プラント 向け 販売・工事	工業製品	高機能 製品	自動車 部品	建材	計		
売上高								
外部顧客への売上高	19,431	18,752	6,089	13,315	10,933	68,523		68,523
セグメント間の内部 売上高又は振替高		2,887				2,887	2,887	
計	19,431	21,640	6,089	13,315	10,933	71,410	2,887	68,523
セグメント利益	1,387	2,519	201	916	325	5,351		5,351

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	プラント 向け 販売・工事	工業製品	高機能 製品	自動車 部品	建材	計		
売上高								
外部顧客への売上高	18,361	18,724	6,891	14,430	11,121	69,529		69,529
セグメント間の内部 売上高又は振替高		2,834				2,834	2,834	
計	18,361	21,558	6,891	14,430	11,121	72,364	2,834	69,529
セグメント利益又は 損失( )	1,105	1,804	650	1,433	66	4,928		4,928

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「工業製品」「高機能製品」「自動車部品」「建材」「保温保冷工事」から、「プラント向け販売・工事」「工業製品」「高機能製品」「自動車部品」「建材」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額(円)	25.03	26.93
四半期純利益(百万円)	2,982	3,215
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	2,982	3,215
期中平均株式数(千株)	119,164	119,409
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額(円)	23.83	23.39
四半期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数(千株)	5,996	18,083
(うち新株予約権)	(67)	(-)
(うち新株予約権付社債)	(5,928)	(18,083)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年11月11日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....836百万円

(ロ) 1株当たりの金額.....7円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年12月5日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月7日

ニチアス株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 石井 哲也 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 五十嵐 勝彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているニチアス株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ニチアス株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。